

直接目的03

地域の方は、その子どもがどのように困っているのかを理解し、手を差し伸べられる

困っていることを表現しやすい地域でのつながりがある

障がいについて理解し、協力してくれる人がいる

受け入れることが重要であると理解している

見守る「地域の人」を増やし、情報を共有する

困り感は一人ひとり特有であると理解し、合わせていこうという気持ちがある

困っている子に手を差し伸べたことがある

地域の方が、家族構成等状況を分っている

困っている子、人に気づいたら、無視しないで声をかける

地域の方は、困っている子がいることを知っている

情報や対応の仕方について、共有し、実行する

0301
地域の方が、困っている子どもについて学ぶことができる機会を持つ

子育てについて話したり、良い触発を受けられているか	子どもの困っていることを勉強する機会に参加している
地域の障がい者団体との交流があるかどうか	障がいについて学ぶ機会があるか
町会等で困っている子について学べる機会を（作る）企画し、実施する	困り感を体験できる機会を設ける
子どもの困っていることを地域の中で考えていこうという意識を高める	

0302
地域の方が、子どもたちと一緒に参加、体験できる機会を増やす

学習による子どもの理解度を深める	地域行事に共同参加し、手を差し伸べる
	地域行事に、障がい児者団体へ参加を働きかける
	誰もが参加できる行事がたくさんある
地域の人、困っている子どもに学ぶ場所を提供し、理解度を深める	地域の祭りや行事を楽しんでいますか（毎年、楽しみにしていますか）
	地域のイベントが障がいがあっても、参加できるよう配慮され、そのことが周知されている

0303
地域の方が、子どもの社会参加を促進する

社会参加を体験できる場があるか	内容についてわかりやすい情報がある
	どんなことをしたいのか、希望が言える
社会参加した感想を聞ける場があるか	
地域の人、子どもたちと一緒に参加、体験談を話し合う	障がい児者中心の行事（福祉ふれあいまつり等）に町会の方も参加したことがあるか
	声をかけ、誘うことが日常的にある

太線枠(色つき):ロジック・モデルの文言
細線枠:今回のワークショップでの意見

